



2026 年 8 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ズ ー ム
代表者名 代表取締役 CEO 工藤 俊介
(コード：6694、東証スタンダード)
問合せ先 取締役 CFO 山田 達三
(TEL. 03-5297-1001)

特別利益の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 12 月期第 2 四半期連結会計期間において、過年度関税還付に伴う特別利益を計上するとともに、2026 年 2 月 16 日に公表いたしました 2026 年 12 月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

2026 年 12 月期第 2 四半期連結会計期間において、IEEPA 関税還付金のうち、過年度に販売した製品に係る分 190 百万円を特別利益に計上いたしました。

IEEPA 関税につきましては、2026 年 2 月 20 日の米国最高裁判決により違法とされ、既に支払った関税が還付されることとなりました。当社米国子会社は、前年より本関税の還付に向けた請求手続きを行ってまいりましたが、還付の可否や時期は不確定な状況であったため、当第 1 四半期連結会計期間までは計上を見送っておりました。しかしながら、5 月から 7 月にかけて当社請求分のうち当局に認められた金額が還付されたことから、第 2 四半期連結会計期間において、還付された関税のうち、過年度に販売した製品に係る分を特別利益に計上いたしました。

なお、下記の「2. 連結業績予想の修正」には当該特別利益の金額を反映させております。また、今後 IEEPA 関税が追加で還付される予定はございません。

2. 連結業績予想の修正

(1) 2026 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 17,500	百万円 650	百万円 550	百万円 200	円 銭 46.24
今回修正予想(B)	18,500	900	800	400	92.60
増減額(B-A)	1,000	250	250	200	
増減率(%)	5.7	38.5	45.5	100.0	
(ご参考)前期実績 (2025 年 12 月期)	17,437	△56	△231	△1,728	△398.85

(2) 修正の理由

① 売上高について

上半期の売上高は概ね計画を上回って推移し、加えて為替相場が前回発表予想の前提より大幅な円安水準で推移したことから、円換算後の売上高も押し上げられました。

一方、下半期の需要動向等には不確実性が残ることを踏まえ、通期売上高は前回予想比 1,000 百万円増加の 18,500 百万円となる見込みです。

② 営業利益及び経常利益について

上半期は、増収に加え、構造改革に伴う原価改善・固定費削減が進展したほか、米国最高裁判決により違法とされ還付を受けた IEEPA 関税のうち、当期販売分に係る約 90 百万円を売上原価の控除として処理したこと等により、利益が改善しました。

一方、下半期の事業環境には引き続き不確実性があることを考慮し、営業利益は前回予想比 250 百万円増加の 900 百万円、経常利益は 250 百万円増加の 800 百万円となる見込みです。

③ 親会社株主に帰属する当期純利益について

経常利益の増加に加え、IEEPA 関税のうち過年度に販売した製品に係る分 190 百万円を特別利益に計上した一方、英国での VAT 追徴金見込額 120 百万円を特別損失に計上しており、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想比で 200 百万円増加の 400 百万円となる見込みです。

④ 当連結会計年度想定平均為替レートについて

- ・ 前回発表予想：1 ドル 145.0 円、1 ユーロ 170.0 円

- ・ 今回修正予想：1 ドル 155.1 円、1 ユーロ 180.7 円

第4四半期には1ドル150円、1ユーロ170円まで円高が進むと想定しておりますが、7月まで円安に推移していたことから、年平均の為替レートは1ドル155.1円、1ユーロ180.7円と予想しております。

3. 期末の配当について

期末の配当予想につきましては、前回発表予想（1株当たり32円）から変更はございません。

(注) 上記の業績予想は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて記載したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上